

## 令和 6 年度の母子保健関係の取組について

## 1 新生児聴覚検査体制整備事業

令和 5 年度に構築した「みえ県新生児・小児聴覚検査情報データベースシステム」により、新生児聴覚スクリーニング検査等で発見された聴覚障がいのある子どもの聴覚検査や診断、療育支援等の情報を集約して関係機関において情報共有を図り、連携を強化し適切な支援につなげます。

## 2 思春期ライフプラン教育事業

妊娠前の健康管理（プレコンセプションケア）について啓発を図るため、令和 5 年度に産婦人科医会に監修を依頼して作成した「プレコンセプションケアチェックシート」や、改訂を行った若者向けのライフプラン教育パンフレットを活用して、産婦人科医会と連携して実施している県内大学・企業への講師派遣の充実を図りします。

併せて、令和 5 年度に産婦人科医会に監修を依頼して作成した小学校高学年への健康教育パンフレットを活用して、早い時期から将来のライフプラン教育を行うため、モデル的に授業を実施できるよう市町教育委員会に働きかけます。

## 3 妊産婦のほっとスポット構築モデル事業

さまざまな悩みを抱える妊産婦の不安解消を図り、相談支援をはじめ心身のケアや育児サポートなどきめ細かい支援を広域的に行うため、助産師や母子生活支援施設を活用した妊産婦のほっとスポット構築モデル事業を引き続き実施します。特に、多胎児家庭においては、ほっとスポットの利用回数追加により育児負担の軽減を図るとともに、交流会等を実施していきます。

また、現在四日市市と津市の 2 施設で実施している事業について、その他の地域での受入施設の拡充などに努めます。

## 4 出産・子育て応援交付金事業

市町において実施している妊産婦への相談支援を充実させ、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、妊娠届出時及び出産届出後の面談にあわせて行う「経済的支援（各 5 万円相当の給付）」を一体的に実施する市町に対して、事業に係る費用の一部を補助します。

令和 5 年度末に完成予定である経済的支援のデジタル給付の仕組みの導入により、現金給付とデジタル給付の併用が可能となるため、対象者にとって利便性の高い給付方法が選択できる制度の運用を目指します。